

# 理事会 議事録

日時：1998年7月4日 11時00分～17時15分

場所：国立天文台（三鷹）会議室

出席者：奥田、岡村、定金、柴田一、田中、紀伊、尾中、加藤、末松、  
沢、田原、大橋、柴田晋、有本 出席者14名 欠席者1名

議事に先立ち署名人を選出

議長：奥田治之

署名人：柴田一成・田中培生

前回（1998年3月18日）の理事会議事録が報告され承認された。

## 議題の経過及び結果

- 1999年度事業計画案が柴田庶務理事より報告され、種々議論ののち若干の修正を加えることで承認された。また、1999年度収支予算案が紀伊会計理事より報告され、種々議論ののち承認された。なお、収支予算案では内地留学奨学金の基金の管理変更と 欧文報告電子化にともなう予算措置が含まれている。
- 次期の新役員（案）が報告され承認された。
- 次期の各委員会 新委員・新委員長（案）が報告され承認された。  
（ただし、教育委員会の新委員は未定。）
- 総会での新役員・評議員選挙管理委員会委員の承認方法について議論がなされた。  
選任方法は、投票用紙（葉書）には、「全員承認」、「一人でも不承認の人がいましたらお名前をお書き下さい（記名された人以外は承認）」と記し、どちらかを選ばせる。総会でもおなじ投票用紙（無記名）を配る。
- 秋季年会時の特別講演会は総会直前（45分ないし1時間）に行う。来年度以後の年会での特別講演会、関連した年会実行形式の整備（会期日数、セッションの見直し、その他に関連して、今年中にアンケート調査をして欲しい（庶務理事から年会実行委員会への要望）。そのため庶務理事から年会実行委員会に、現行の年会の問題点をリストアップした具体的な要望書を送る。
- IAU記念基金の内規（案）が検討され、若干の修正を加えたのち、承認された。
- 定款の付則・内規の変更が報告され承認された。
- 1998年秋季年会（山形大）の準備状況が報告され、種々の議論があった。
- 年会の今後の予定が報告され、承認された。（括弧内は年会開催地理事）

1999年春：京都大学（大谷浩） 3月25日（木）－27日（土）

2000年春：東京大学（牧島一夫）日程未定

2000年秋：群馬天文台（橋本修）日程未定

- 理事が評議員を併任することの是非が議論され、評議員選挙の際に理事を選ばない処置ができるよう、配慮することになった。
- 新入正会員22名（1998年3月-6月）が承認された。
- その他

- 加藤理事より、天文学会会員の女性会員数について質問があった。
- 天文オリンピックについて議論があり、天文学会としては特に対応はしないことになった。
- 「しし座流星群・全国高校生同時観測」（1998年11月17日-18日朝）について紹介があり、天文学会が共催団体となる旨報告され、関連して若干の議論があった。
- 有本理事より、PASJ 電子化に関する今後のプランが提案され、種々議論の終了承された。  
さらに、この機会に PASJ への投稿を増やす方策として、電子化と合わせて、当面、投稿料を半額にする、という、プランが了承された。

1998年7月13日 社団法人 日本天文学会  
議長：奥田治之  
署名人：柴田一成・田中培生